

Power of Sport

～エンジョイ、チャレンジ、イノベーション～

東京都スポーツ推進計画
〈概要〉



世界トップレベルのスポーツ都市を目指すスポーツ推進計画を策定

東京都は、2013(平成25)年から2020(平成32)年に向けた新たなスポーツ推進指針として、「東京都スポーツ推進計画」を策定しました。

この新たな計画に基づく様々な取組を推進することで、2020年には、世界に誇る成熟都市の模範として、スポーツが都民の日常に溶け込み、スポーツを通じて一人ひとりが輝く「スポーツ都市東京」の実現を目指します。

基本理念

スポーツの力を すべての人に

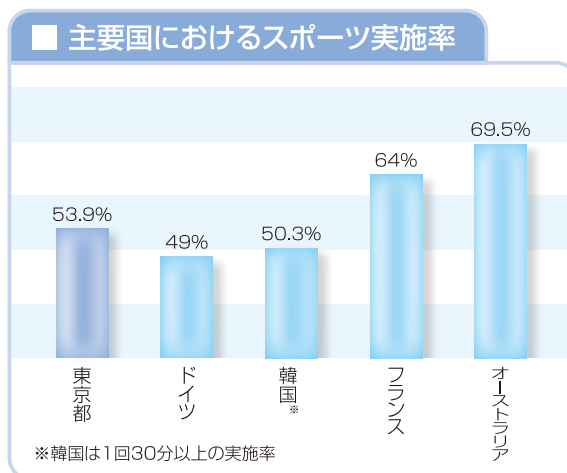
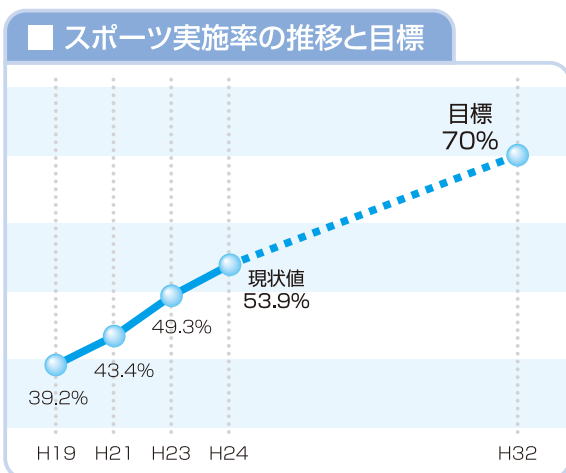
～誰もが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツを楽しみ、
スポーツの力で人と都市が活性化する「スポーツ都市東京」を実現～

スポーツの力に、より多くの人気が付き、それぞれの年齢や健康状態、技術、興味、目的に応じて、スポーツを楽しみ、都民の誰もがスポーツの力による効果を享受し、活気が溢れている社会を「スポーツ都市東京」と位置づけ、その実現を目指します。

目 標

スポーツ実施率を世界トップレベルの70%に!

※スポーツ実施率：週1回以上スポーツを実施する成人の割合



※ 出典:「スポーツ政策調査研究」報告書(2011年、文部科学省)より作成



2020年に向けたスポーツ都市東京の将来イメージ

誰もが、多様なスポーツをエンジョイし、
一人ひとりが輝く都市

- 老いも若きも障害者もスポーツを楽しめるまち
- スポーツ情報あふれるまち
- 国際スポーツ大会の感動を味わえるまち

スポーツを「する人」が、これまでより身近な場でスポーツをできるようにするとともに、「観る人」、「支える人」など、様々な形でスポーツに関わり、親しむことができる都市



©東京マラソン財団



世界を目指してチャレンジするアスリートを通じて、夢と感動を享受できる都市

- 世界を目指すアスリートが集うまち
- トップアスリートがジュニアを育てるまち

スポーツへの関心や知識が高まるとともに、東京出身・在住のアスリートの活躍を応援したくなる雰囲気が高まり、スポーツで一体感が生まれる都市

スポーツの力を総合的に発揮し、イノベーションを実現できる都市

- スポーツで都市を元気にするまちづくり
- スポーツで復興の目標をつくるまち

スポーツの力により生み出される都市の活性化やプレゼンスの向上などの効用をすべての都民が享受できる都市



本計画におけるスポーツとは

勝敗や記録を競うスポーツだけでなく、健康づくりのためのウォーキングや気分転換に行う軽い体操、自然に親しむハイキング、介護予防のためのトレーニングなど、目的を持った身体活動の全てをスポーツとして扱い、スポーツの概念を幅広く捉えます。

スポーツ都市東京の実現に向けた5つの戦略と主な取組

戦略 1

スポーツに触れて楽しむ機会の創出

「する」「観る」「支える」といったスポーツへの関わり方に応じて、スポーツに接する機会を創出し、スポーツムーブメントを醸成していきます。

✿ するスポーツの推進

- ・東京マラソン、TOKYOウオーク、スポーツ博覧会・東京、チャレスポ! TOKYO等、誰もが参加・体験できるスポーツイベントを数多く開催

✿ 支えるスポーツの推進

- ・東京マラソン、スポーツ祭東京2013など大規模大会におけるボランティア活動の場の提供やボランティアリーダーの育成

✿ 観るスポーツの推進

- ・国際スポーツ大会等トップアスリートの競技を直に観戦し、スポーツの興奮や感動を共有できる機会を提供



戦略 2

スポーツをしたくなるまちづくり

スポーツ人口の定着を図るため、そして、誰もが、年齢や健康状態、技術、興味、目的に応じてスポーツを身近な場所で楽しむことができる環境をソフト、ハード両面から整備していきます。

✿ スポーツ情報の発信

- ・多くの都民にスポーツ情報を伝えるために、ツイッターなどソーシャル・ネットワーキング・サービスを活用し、スポーツ情報を積極的に発信
- ・都内のランニングコース、ウォーキングコース、サイクリングコースをはじめ身近にスポーツに取り組めるスポーツ情報をウェブサイトで発信



✿ まちかどスポーツの推進

- ・都民が気軽に参加できるプログラム等を実施する地域スポーツクラブを支援
- ・区市町村や地域スポーツクラブを訪問し、障害者スポーツの場を開拓

✿ 地域スポーツとトップスポーツの融合

- ・トップアスリートを指導者として迎え、その経験や技術を地域に還元することにより、地域スポーツの推進と次世代のアスリートの発掘につなげる新たな仕組みを構築

ライフステージに応じたスポーツ活動の支援

子供や、スポーツ実施率が特に低いとされる働き盛り・子育て世代、そして高齢者など、きめ細かくアプローチすることで、スポーツ人口の裾野を拡大していきます。

子供のスポーツ推進

- ・有明の森スポーツフェスタ、東京マラソンファミリーラン等、子供や親子で楽しめるスポーツを紹介し、体験することで、スポーツに親しむきっかけや楽しむ機会を提供



高齢者のスポーツ推進

- ・高齢者が身近にスポーツに親しみ、楽しむ機会が持てるよう、地区体育協会や地域スポーツクラブ等が実施する高齢者を対象とするスポーツ競技会やスポーツに関する講習会・講演会等の事業を支援

働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

- ・働き盛り・子育て世代がスポーツに親しむ機会を提供する地域スポーツクラブを支援
- ・職場や学校、高齢者施設などで座ったままでも行える「TOKYO体操」の普及

世界を目指すアスリートの育成

スポーツ祭東京2013における競技力向上のレガシーを継承して、オリンピック・パラリンピックをはじめとする国際大会等の大きな舞台で東京の選手が活躍できるよう、多様な才能を発掘し、障害者を含めたアスリートの育成、競技力向上に努めます。

新たな才能の発掘・育成

- ・中学生を対象に、優れた運動能力を有するジュニア選手を選考し、高校からでもトップを目指せる競技において、集中的に育成強化
- 対象競技：レスリング、ボート、自転車、カヌー、ウエイトリフティング、ボクシング、アーチェリー



科学的データによる支援

- ・都内の大学機関や専門家が有する最新の知見や技術を活用するとともに、国立スポーツ科学センターと連携し、有望な選手の戦略分析、実戦的動作解析、トレーニング改善指導、メンタル・栄養サポート等を実施し、個々の選手に応じたサポートを実施



国際交流、観光、都市づくり政策等との連動

東京が有する様々なスポーツ資源の集積を有効に活用し、国際交流や観光、都市づくりなど様々な分野の政策と連動することで、活気に満ちた都市を実現します。

❁ スポーツを通じた復興に向けた取組

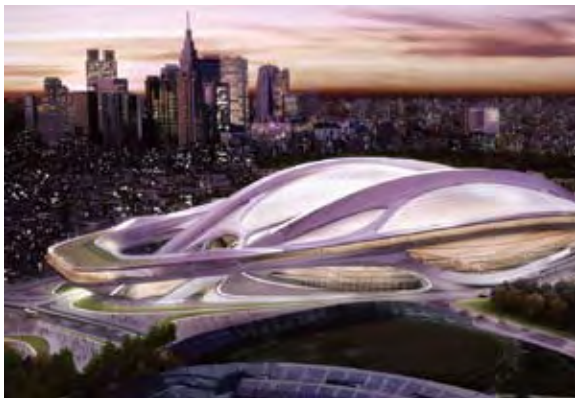
- ・東北縦断復興ランニングイベント、被災地へのアスリート派遣、被災地と東京の子供たちのスポーツ交流等、日本の首都として東日本大震災の被災地の復興を牽引し、復興した姿を世界に示すため、スポーツを通じた支援を実施



❁ スポーツクラスターの整備と活用

- ・スポーツクラスターを整備し、国際的な大会の招致を進めることで、都民のスポーツ熱を高めるとともに、活気あるまちづくりを推進

■ 神宮地区 ■



新国立競技場(2019年3月竣工予定) 外観イメージ
(提供:日本スポーツ振興センター)

■ 駒沢地区 ■



■ 臨海地区 ■



■ 武蔵野の森地区 ■





障害者スポーツの推進

本計画は、2012年に策定した全国初の行政計画「東京都障害者スポーツ振興計画」と相互に連動させて、障害の有無に関わらず、誰でも身近な地域でスポーツを楽しめる環境の整備を重点的に進めていきます。

❁ 障害者スポーツイベントの開催

- ・障害のある人となない人が、ともに楽しめる障害者スポーツのイベント「チャレスポ! TOKYO」を開催



❁ 障害者スポーツ情報の発信

- ・都内全域の公共スポーツ施設の詳細なバリアフリー情報を網羅した、全国初の障害者スポーツ専門ポータルサイト「TOKYO 障スポ・ナビ」を開設

❁ 障害者スポーツの場の開拓

- ・身近な地域で障害者スポーツ教室等が開催されるよう、障害者スポーツの地域開拓推進員が区市町村等を訪問し、事業実施に向けた取組を支援



❁ 障害者スポーツを支える人材の育成・確保

- ・障害者スポーツセミナーの実施、障害者スポーツ指導員資格の取得促進等を通じ、障害者スポーツ活動の指導や支援にあたるキーパーソンを育成・確保

❁ 障害者スポーツの競技力向上

- ・全国大会等で活躍できる東京都選手の計画的・継続的な育成を目的として障害者スポーツの強化練習会を開催





発行年月：平成25（2013）年5月

発行：東京都スポーツ振興局スポーツ事業部調整課

〒163-8001 東京都新宿区西新宿2-8-1

電話：03-5320-7723

